

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
				講義 演習 実習 PBL など		授業科目で何を目的に学修し、 どのような内容の理解を狙いと するか。	授業での教育・学修を通じて学生 がどのような学修成果の達成を 目指し、何を到達目標とする か。	学修の参考となる重要なキー ワードなど	身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に 関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象の 原理原則を 応用する立 場から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的かつ 合理的に活 用し、社会 に貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身に付 けている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的かつ 合理的に活 用し、社会 に貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身に付 けている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応する ための指導 方法を身に 付け、様々な 専門家と協 働してアス リートの支 援ができる。	スポーツの パフォーマンス の向上を 目指しな がら、アス リートやス ポーツ・運 動のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな活 躍ができる。	
学 科 間 共 通 専 門 科 目	スポーツ心理学 I	M-HES112	■	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競 技スポーツやレクリエーションとして のスポーツ、健康・医療領域での運 動やスポーツ、および日常生活で の運動行動などについて心理学的 観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動 学習のメカニズム、運動による健康 の増進、競技者の心理などの理解 を通して、心理学的観点からスポ ーツをより深く理解できるようになる。	運動と知覚、運動の学習と指導、ス ポーツと動機づけ、スポーツの社会 心理、運動行動の要因、競技心 理、メンタルトレーニング、スポーツ 臨床		◎		◎	○	○
	スポーツ心理学 II	M-HES240	■	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる 気」、運動行動の促進、スポーツ選 手のバーンアウト、スポーツ傷害に おける心理サポート、運動部活動 における不適応等、身体運動やス ポーツと心理の関連について幅広 く取り上げて学修する	スポーツの心理学的な理解を通じ て、スポーツの実践者として、ある いは指導者として、より効果的にス ポーツ活動を展開したり、支援する ことができる素地をつくる。	運動学習、スポーツと発達、モチ ベーション、運動による健康の増 進、心理サポート			○	◎	◎	○
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	■	200	講義	2	国際スポーツ、アドミニストレータ ーの育成に向けて、スポーツ・アドミ ニストレーションの視点から基礎的な 知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予 防法、指導者育成、イベントの企画 運営能力など、「スポーツ・アドミニ ストレーション」に関する基本的な 知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国 際スポーツイベント、スポーツ医科 学、指導者		○		○	◎	○
	スポーツ産業論	M-HES248	■	200	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポ ーツクラブ、プロスポーツ、メディアな ど多岐にわたる。スポーツ用品産 業(事業戦略、マーケティング、生 産、販売促進、営業(販売)活動)に おける基本的な流れを学ぶ。さら に、スポーツクラブ経営、スポーツ マネジメント、スポーツメディア、ア スリートのセカンドキャリア等につ いても学ぶ。なお、本授業はミスノ株 式会社の各部門の担当者とスポ ーツビジネスに携わる関係者の事例 を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流 れを学ぶことでスポーツの職業領 域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、 SDGs、パレル、広報、プロモ ーション		○	○	◎		○
	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	■	300	講義	2	「スポーツ・アドミニストレーション入 門」、「English comprehension II お よびCommunication Basic II」で 得た知識を基に、「仮想イベント」を 実施することで、将来スポーツ・アド ミニストレーターとなるべく学修す る。	スポーツイベントを実施するための 基礎的知識・能力として、①スポ ーツイベントの理解、②イベントの ニーズに即したイベントの企画と準 備を身に付け、さらにそれを実施し た後に、適切に評価し改善するこ とができるよう能力を身に着ける。	スポーツ・アドミニストレーター、ス ポーツイベント、大学スポーツ振興 の推進事業、UNIVAS			○	◎	○	○
	ウェルネス&スポーツ	M-HES247	■	200	講義	2	ウェルネスプログラムにより自己の 変革の方法を学修し、生活の質 (QOL)の向上を追求する。	1. ウェルネスの理論に基づき、科 学的な情報を適切に咀嚼し、望ま しい生き方、生活習慣に修正してい く積極的な姿勢を持つことができる。 2. 身体に高い関心を持ち、より客 観的に自分の日常生活を評価(現 在の自分の状態に気づき)、見直し ができる。 3. 生涯スポーツとヘルスプロモ ーションについて学び、地域社会に貢 献できる能力を身につける。 □	ウェルネス、健康、よりよく生きる、 ウエイコントロール、身体活動、休 養、ライフプランニング	◎	○	○		○	
	コミュニティスポーツ論	M-SOC320	■	300	講義	2	スポーツと地域の関係性を、振興と 地域づくりの観点から理解し、ス ポーツによる地域づくりの種類と方 法、現状と課題を学ぶ。	地域とスポーツの関係が深まって きた背景、その地域づくりの方法、 効果、課題を理解し、地域づくりに ついて意見をもち実際の企画を たてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポ ーツイベント、スポーツとまちづくり、 地域のクラブとまちづくり		○		◎	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									身体・心 理・技術・戦術 に関する幅広い教養を 身に付けている。	スポーツおよび健康の 原理原則を応用する立 場から科学的に理解し ている。	スポーツ・健康 に関するデータを取 集、分析し、スポー ツ行動や健康に科 学的に理解し、問題解 決ができる。	スポーツ・健康 に関する知識やスキル を専門的かつ合理的 に活用し、社会貢献す るために必要なコミュ ニケーション能力や行 動力をつけている。	高度なスポ ーツ技術 や多様な レベルに 対応でき る指導方 法を身に 付けてい る。	スポーツの パフォーマンスの向上 を目指し ながら、 アスリート や運動の エキスパート として求 められ る高い倫 理観や創 造的な思 考力を持 ち、グロ ーバルな 視点から 活躍でき る。	
	バラスポーツ論	M-HES358	■ 300	講義	2	本講義では、多様な障がいを持つ人々によって行われているバラスポーツの実態について学ぶ。また、障がい者のスポーツ活動に伴う様々な問題をスポーツの特性と社会的な視点から総合的に考察する。さらに複数のバラスポーツを実際に体験することを通じて理解を深め、障がいを持つ人のスポーツ活動を指導・支援する資質を習得することを目的とする。	・様々な障がいの種類と、スポーツ活動実践に伴う課題を理解する。バラスポーツに関わる問題を社会的な視点から説明できる。 ・障がいの特性に応じて考案されたスポーツのルールと、その基本的な考え方を説明できる。 ・バラスポーツの実践を通じ、障がいを持つ人と共にスポーツを行なえる資質を養う。	障がい者スポーツ ノーマライゼーション、多様性 バラスポーツ実習							
キャリア	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	■ 300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(15回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる	主題別			◎	○	○	○	○
	人間社会学部特殊講義 B	M-OAR315	■ 300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(30回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる	主題別			◎	○	○	○	○
教職系	身体づくり運動(保体教職)	M-EDU206	■ 200	講義	2	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生を対象とし、授業者および学修者の両視点から実技授業を作成して、教える、学ぶ。	次ができるようになる。指導イメージを身に付ける。自己の指導上の課題を発見する。自己の役割や責任を果たし、グループで合意形成を図りながら協力して進める。	保健体育教師、資質能力、よい指導、グループワーク、アクティブラーニング			○	○	◎		
	学校インターンシップ I	M-EDU207	■ 200	実習	2	実地活動を通じて学校現場や教師の仕事の実際に触れ、自己の適性や教職生としてこれから必要な学び、身に付けなければならない課題(知識・技術)等の理解と自覚を促すとともに、履修者の教職に対するモチベーションを高めることを本科目の目的とする。	1:児童生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握している。2:年間を通して担当教員等の補助的な役割を担うことで、学校現場の実態を広く理解している。3:体験的な活動を通して、教職への自己の適性や今後必要な知識・技術等への課題を自覚している。	・実践体験型の学修 ・自己適性への省察 ・現代の子どもの理解			◎		○		○
	学校インターンシップ II	M-EDU308	■ 300	実習	2	学校現場での実地活動を体験し、学習指導、生徒指導、学級経営等の実態をより深く理解させる。あわせて教育実習に臨む意欲や態度を培うとともに、教育実習実施までに修得すべき知識・技能等の自己課題を自覚させることを本科目の目的とする。	1:学習指導に必要な基礎的知識・技術等を実際に即して身に付けている。2:適切な場面におけるICT機器の活用などの実態を実地活動をjして理解している。3:特別な配慮を要する子どもへの指導等について、体験を通して理解している。4:学級担任の役割や職務内容等を実際に即して理解している。	・実践体験型の学修 ・教職へのモチベーションの向上 ・学校現場全般への基礎的実践知識の修得			◎	○			○
	学校インターンシップ III	M-EDU402	■ 400	実習	2	大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等(教育実習での成果・課題を含む)と実地活動での体験を往還的に結び付け、教員として必要とされる必要最適限の力量を形成する。あわせて、大学卒業後、教員として遵守すべき職務や学校実務を実地に即してより深く理解するとともに、積極的に社会に参画する意欲・態度等を培うことを本科目の目的とする。	1:教科に関する最新の知識や教授方法を修得し、学校現場での活用等について理解している。2:教員の使命や役割、遵守すべき法令等を深く理解している。3:専門的職業人として積極的に社会に参画する意欲や態度が身についている。	・実践体験型の学修 ・学校現場全般への応用的実践知識の修得 ・学問と実践知識の往還を通じた確かな教員像の確立					○		
	スポーツ哲学	M-HES219	■ 200	講義	2	「体育とは何か」および「スポーツとは何か」という根本問題を、哲学的立場から明らかにするための学修を行う。	前半は体育の人間存在にのっての本質的役割を、後半はスポーツの「文化性」を理解し、多様な文化的・社会的可能性、現代の問題点を把握できる。	体育概念、関係性、重層性、超越性、文化論、スポーツ構造論			◎	○		○	○
	体育史	M-HES220	■ 200	講義	2	近代を中心に体育・スポーツ史上の主要な出来事や人物を取り上げ時代的、地域的な特徴を学修する。	歴史上の主要な出来事や人物について理解できる。それらを踏まえ、現代の体育・スポーツの諸問題について考察できる。	国民国家、近代体育、学校体育、近代スポーツ、戦時体制下の体育・スポーツ			◎	○		○	○

授業科目 区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学修し、 どのような内容の理解を狙いと するか。	授業での教育・学修を通じて学生 がどのような学修成果の達成を 目指し、何を到達目標とする か。	学修の参考となる重要なキ ーワードなど	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康の 自然現象の 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応する 指導方法を 身に付けて 、様々な 環境下でア スリートの サポートが できる。	スポーツの パフォーマンスの向上 を目指すな がら、アス リートやス ポーツ運動 のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グ ローバルな 視点から活 躍できる。
生理学	M-HES111	■	100	講義	2	ヒトの細胞や組織、筋や脳神経等の各器官の役割や機能を学び、健康な人体の生理機能について学修する。	細胞や組織、筋や脳神経等の各器官に関する人体の基本的な生理機能について説明できる。	人体の機能・役割、細胞、ホメオスタシス、代謝、神経と筋、感覚、呼吸循環、消化吸収	◎	◎		○			
メンタルトレーニング論	M-HES223	■	200	講義	2	心理スキルトレーニングの方法について、学術的背景や基礎的用法の知識や理解を深めるための学修をする。	メンタルトレーニングの必要性や実際のメンタルトレーニングの展開、具体的な心理的スキルトレーニングの技法について理解できる。	競技力の向上、メンタルトレーニングの技法の基礎、メンタルトレーニングの展開			◎	◎	○	○	
スポーツトレーニング論Ⅰ	M-HES243	■	200	講義	2	スポーツ選手のトレーニング指導に必要な理論や実践的な方法についての基本的事項を理解することを目的とする。	履修者はスポーツパフォーマンスを向上させるための基本的な運動プログラムについて理解し、その作成ができるようになる	ウェイトトレーニング、筋力、スピード、パワー、可動域、持久力			◎		○	○	
スポーツトレーニング論Ⅱ	M-HES244	■	200	講義	2	スポーツトレーニング論Ⅰで学んだ基礎を発展させ、各種競技スポーツにおける特性を考慮して、競技スポーツパフォーマンスを向上させるために必要な専門的なトレーニング方法の理論と実践的な進め方を学びます。	履修者は各種競技スポーツ種目における体力の特性や年齢特性について理解し、その競技や年齢に応じたトレーニングプログラムを作成できるようになる。	競技特性、ピーキング、ジュニア、アスレティックトレーニング			◎		○	◎	
メンタルトレーニング演習	M-HES334	■	300	演習	2	心理スキルのエクササイズやグループワークの実践を通じて、体験的にメンタルトレーニングへの理解を深め、実践力を付けるための学修を行う。	競技者としてメンタルトレーニングを実践できるようになる。また、指導者として選手の心理的な課題に応じたメンタルトレーニングを指導できる。	心理スキルトレーニング、メンタルトレーニングプログラムの立案と実施、実践報告			○	○	◎	◎	
コンディショニング演習	M-HES354	■	300	講義	2	目的に応じたコンディショニングプログラムを作成、実践することを通じて、指導に必要な実践能力を養成するための学修をする。	基本的なエクササイズの指導ができる。 ・各目的に対応したプログラムを作成できる。	プログラムデザイン、エクササイズの実践、エクササイズの指導、競技特性、測定評価			○	○	○	◎	
衛生・公衆衛生学	M-HES304	■	300	講義	4	社会や環境とヒトの健康の保持増進との関わりについて学修する。	身近な環境問題と健康、生活習慣病や高齢者問題、人口問題と医療費、学校や地域、職域における健康づくりの現状について理解できる。	健康、環境、社会、人口、医療、保健			○	◎			
健康管理論	M-HES357	■	300	講義	2	健康管理に関する基盤的・基礎的な理論・方法等を修得し、実践的活用に関する能力を培う。	・健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり施策等、健康管理の基盤的理論・枠組みについて学修する。 ・栄養、運動、生活習慣病等、健康管理に必要な基礎的内容・方法について学修する。 ・健康管理の基盤的・基礎的な学修を踏まえ、地域・学域・職域での健康管理の実践的活用に関する能力を培う。	健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり、健康成立要件、危険因子	◎	○					
スポーツ政策	M-HES326	■	300	講義	2	スポーツを通じた国際競技力の向上、健康増進や国際交流の拡充、地域・経済の活性化等について学ぶ。	スポーツ政策の科学的研究及び提言等について、重要な論点を考察し、各自の意見を述べる事ができる。	スポーツ振興政策、競技スポーツと国際競技力向上、海外のスポーツ政策、事故とリスクマネジメント			○	◎	○	○	
健康運動実習Ⅱ	M-SPE302	■	300	実習	1	高齢者の体力測定と評価、介護予防・運動や生活習慣病の適切な運動療法を学ぶ。	高齢者やハイリスク者を対象とした安全で効果的な運動指導の補助ができる。	高齢者、ハイリスク者、介護予防、生活習慣病、運動療法、高齢者の体力測定と評価、介護予防に関する体力測定と評価	◎	○	◎	○			
応用スポーツ医学Ⅱ(含実習)	M-HES353	■	300	実習	2	運動を安全かつ効果的に行うために、運動実施による生理学的変化と運動実施による身体組成や生化学検査への影響を学習する。	実習を通して運動による生理学的変化について理解し、実践に活用できる。	スポーツ、医学、運動負荷試験、救急蘇生、外科的処置	◎	◎	○	○			

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象の 原理原則を 応用する立 場から科学 的に理解し ている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をつけて いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をつけて いる。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応する 指導方法を 身に付け、 様々な専門 家と協働し てアスリート の支援がで きる。	スポーツの パフォーマンス の向上を 目指しな がら、アス リートやス ポーツ運動 のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 な思考力を 有し、グロ ーバルな視 点から活躍 できる。
スポーツ 理論 専門 科目	エアロビクスⅢ	M-SPE402	■	400	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学習し、指導できるようにする。	エアロビクダンスやコンディショニングの動きを洗練し、かつわかりやすく指導できる。	エアロビクダンス、レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術の向上		○		◎	○	◎
	健康心理学	M-HES238	■	200	講義	2	健康行動、心身相関現象、ストレスマネジメント、ライフスタイルおよびパーソナリティ特性と健康との関連を学修する。	自らの健康を向上させることができるようになり、さらに家庭、地域、学校、職場の健康増進に貢献できる能力や態度を養うことができる。	健康行動、心身相関現象、ストレスマネジメント、ライフスタイル、パーソナリティ特性		◎	○	◎		○
	健康栄養学Ⅰ	M-HES237	■	200	講義	2	日本人の健康と栄養状態の歴史を振り返りながら、栄養や食生活と健康の関わりについて学修する。加えて正しく栄養情報を使える能力「健康栄養リテラシー」について学ぶ。さらに、栄養素、食品、料理などの基本的な知識、健康的な食生活を行うための具体的な食事法、サプリメントの扱い方などを学んだうえで、自分自身の食生活を振り返る。	1)ヒトの健康と食生活が深く関わっていることを理解し、食に関わる適切な情報を正しく選択・利用できる。 2) 栄養素、食品、料理などの基礎的な知識を修得し、健康を考えた適切な量、栄養バランス、食べ方を理解し、実践できる。 3) 自分自身の食生活を評価できる。	食生活と健康、健康栄養リテラシー、保健機能食・サプリメント、栄養アセスメント		○	◎		◎	
	健康栄養学Ⅱ	M-HES349	■	300	講義	2	幅広い側面から「食」を捉え、健康との関係を探り、学びを深める。食文化やおいしさ、環境と食生活、生産・流通・消費、食の安全・安心、青少年から高齢者までのライフステージごとの食事・栄養の問題、そして、未来の食など、食をとりまく様々な事柄について広く学び、健康に生きることの大切さを理解する。	1) 私たちの食生活や健康は、文化、社会、環境との関わりが深く、多くの人々や法律、規則、システムのうち成り立っていることを理解し、日々の食事を大切に考え、実践できる。 2) ライフステージに応じた栄養上の問題点を理解し、健康維持のための適切な食生活を実践できる。	食文化、食と環境、生産・流通・加工・消費、安全・安心、ライフステージ別栄養マネジメント		○	◎		◎	
	実践スポーツ英語	M-ENG302	■	300	講義	4	スポーツと言う世界共通のエンターテイメントプログラムを教材にして観し、みやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の英文の読解、発話の練習、映像・音声等を教材にして、海外で活躍することを目指す選手が射に向けておくべき語力を涵養できる。	スポーツ英語、英文読解、発話、内容についての議論				◎		○
	学校保健	M-HES306	■	300	講義	4	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生の必修科目であり、学校保健活動に関する基礎的事項やマネジメントなどについて学ぶ。	内容理解、関連資料の活用、グループワークでの発言や進行、教育実習等や実際の学校現場において、理解したことを活用できるレディネスを身につける。	学校保健、保健体育教師、資質能力、健康教育、理論と実践			◎	○		
	スポーツ法学	M-HES332	■	300	講義	2	スポーツ固有法およびスポーツ国際法のスポーツ法の体系に則しながら、スポーツ法に関する各種関係を学修する。	社会制度の基礎となっているスポーツ法の基礎知識を習得し、スポーツに関する諸事象、諸課題を法的側面から理解できる。	スポーツ法、法的責任、スポーツ基本法、紛争解決制度、スポーツ国際法	◎			○		○
	スポーツジャーナリズム	M-HES325	■	300	講義	2	「スポーツとは何か」「スポーツの光と影」「スポーツの真実」を学修する。	マスコミを目指す者だけでなく、スポーツに関わる指導者、教員、商社、公務員などを志す者が、スポーツの魅力を伝えられる実践的理解を身につける。	現場で起きた具体例、指導者の暴力、パワーハラスメント	◎			○		○
	スポーツ経営学	M-HES322	■	300	講義	2	公共・民間両面スポーツ施設に寄目し、スポーツ施設での経営・管理の現状を把握し、効果的・効率的なスポーツ施設の経営・管理のあり方等について学修する。	スポーツ施設の基本的な構造や現状を理解し、スポーツ施設における現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ施設を経営・管理できる知識や技術を得る。	スポーツ施設、みるスポーツ、するスポーツ、ささえるスポーツ、スポーツビジネスの特徴、運営	○		○	◎		

スポーツ
科学
科別
専門
科目

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 P型 など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー							
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康の 自然現象の 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応でき る指導方法 を身に付け 、様々な専 門家と協働 してアスリ ートの支 援ができる 。	スポーツの パフォーマンスの向上 を目指すな ら、アスリ ートやス ポーツ運 動のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな視 点から活躍 できる。		
スポーツ実 技専門科目	スポーツ科学実習：ソフトボール	M-SPE210	■	200	実技	1	投・打・走・捕など、基本的な技術や戦術について学修する。	基本的な技術や戦術を学び、それらを習得する練習の具体的な方法を学習して実践できるようにする。	技術・精神・判断・攻撃・戦略・知識		◎						
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	M-SPE205	■	200	実技	1	ゴルフというスポーツの技術的な側面を基本から学ぶとともに、プレーをするうえでのマナーに関しても、指導する。	ショットやパッティングなど、多岐にわたるゴルフの基本を習得し、実際にゴルフコースでプレーできるまでのレベルの獲得を目指す。	エテケット、ゴルフクラブ、ショット、パッティング			○	◎				○
	スポーツ科学実習：柔道初級	M-SPE208	■	200	実技	1	初めて柔道学ぶ中・高校生に対する、受け身、組み方、体さばきなどの指導法を修得するための学習をする。	初めて柔道学ぶ中・高校生に対して、安全に効果的に指導することができるようになる。	柔道衣の着方、礼法、受け身、組み方、体さばき、投げ技			○	◎				○
	スポーツ科学実習：水泳	M-SPE209	■	200	実技	1	練習方法及び指導法の習得、泳力の向上、指導能力の獲得。また健康・体力づくり、生涯スポーツとの関連を学ぶ。	4泳法の推進メカニズムの理解、泳法の習得、100m個人メドレー完泳、指導法と実践的な指導能力の獲得、水の特性の理解、水中での自己保全能力、完全管理能力を養う。	4泳法とその泳力、指導法と指導力、水の特性、水の安全、生涯スポーツ			○	◎				○
	スポーツ科学実習：野球初級	M-SPE216	■	200	実技	1	お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」としての学習を行う。	ゲームに勝ったり技術が上手いということよりも、チームメイトだけではなく対戦相手への思いやりや助け合う心を養う。	心・技・体、公德心		◎			○			○
	スポーツ科学実習：テニス初級	M-SPE212	■	200	実技	1	On Courtの授業ではストローク・ボレー・スマッシュ・サーブなどの基本的なショットの打ち方を学ぶ。講義では、テニス用語、スコアの教え方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナーなどを学修する。	簡単なダブルスができる程度のテニス技術を身に付け、テニスのルール、マナー、テニス界の現状・歴史を学び、テニスを通しての外交ができ、またテニスの会話が弾む知識を得ることができる。	基本的なショットの打ち方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナー			○	◎			○	
	スポーツ科学実習：ゴルフ上級	M-SPE303	■	300	実技	1	実際にゴルフコースでプレーできるレベルから、さらに発展してコースでのレベルアップを図ることを目的とする。単にプレーするのではなく、よりよいスコアを念頭に置いた指導をする。	ショットやパットの基本から、実際にコースで起こり得る状況に即応できるように練習する。	ショット、ミドルアイアン、ロングアイアン、ユーティリティ、フェアウェイウッド、ショートゲーム			○	◎				○
	スポーツ科学実習：柔道上級	M-SPE304	■	300	実技	1	柔道初級を発展させて、より効果的な技の連絡変化などを学ばせ、その指導法を身につけるための学習を行う。	柔道初級を発展させて、さらにレベルの高い技術を習得し、それが指導できるようにする。	受け身、組み方、体さばき、投げ技、固め技、押さえ技、締め技			○	◎				○
	スポーツ科学実習：野球上級	M-SPE306	■	300	実技	1	「野球初級」での学修を基礎に、お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」として一段と高いレベルに達するための学習を行う。	上級者としてのレベルで、ゲームの勝敗や技術の巧拙だけでなく、チームメイトはもちろん対戦相手に対しても思いやりや助け合う心をさらに充実させる。	心・技・体、公德心		◎			○			○
	スポーツ科学実習：テニス上級	M-SPE305	■	300	実技	1	上級の授業では、ストロークやボレー等の技術に磨きをかけるなどにも、シングルスやダブルスの戦法を学ぶ。また、アイフオーメーション、タイブレークシステムなどの専門用語の理解を深め、実際にコートで実習する。	生涯スポーツとして継続できる程度に技術を上げる。シングルス、ダブルスの試合方法を習得し、トーナメントを開催する。テニスを通じて自分を守ることや学ぶとともに、歴史、ルール、マナー等、テニスを語ることのできる知識を身につける。	コースの打ち分け、トップスピン回転とスライス回転、スライスと同じフォームからのドロップショット、ドロップボレー、ドライブボレー、ダブルスのボレーの練習			○	◎				○

授業科目 区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象の 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応でき る指導に 必要な専 門家として 求められる 高い倫理的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな視 点から活躍 できる。	スポーツの パフォーマンス の向上を 目指しな がら、アス リートやス ポーツ・運 動のエキス パートとし て求められ る高い倫理 的・論理的 思考力を 有し、グロ ーバルな視 点から活躍 できる。
	実技指導実践	M-SPE310	■ 300	実技		1	将来、保健・体育教諭や社会体育系企業への就職を希望する者を対象に、器械運動、ダンス、陸上競技、球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー)、武道(柔道、剣道)の各競技の実践能力を高めるとともに、指導方法や安全面の配慮等を学習し、それぞれの現場で役にたつ人材の育成を図る。	教員採用試験(実技)や社会スポーツ系企業の実技試験において、優秀な評価を得られること、あわせてその進路に進んだのちに、適切な指導ができる技能・技術や知識を獲得することを目標とする。	保健体育教師、スポーツ指導員、 資質能力、よい指導		◎	○	○	○	